

## 世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）拠出金

## 基本情報

組織情報	府省庁	外務省				
	事業所管課室	外務省   国際協力局   国際保健戦略官室				
	作成責任者	喜多洋輔				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	001268	事業開始年度	2001	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2026	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	外務省	VI経済協力	2-1 地球規模の諸問題への取組（人間の安全保障の推進と我が国の貢献）		<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100545928.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100545928.pdf</a>	
関連事業	--	主要経費		経済協力費		
概要・目的	事業の目的	途上国における三大感染症（エイズ、結核、マラリア）の感染者数及び死亡者数の削減に向けて、持続可能な形で適切な貢献を行い、支援を必要とする国々において新型コロナにより引き起こされた影響を緩和し、持続可能な開発のための2030アジェンダのゴール3で掲げられている三大感染症の収束達成に寄与する。				
	現状・課題	2002年のグローバルファンド設立以来、同ファンドの支援により、支援対象国においては三大感染症（エイズ、結核、マラリア）による死亡率は63%減少し、7,000万人以上の命が救済されている。新型コロナウイルスのパンデミックを経て、近年は保健システム強化や将来のパンデミックへの備えの重要性が改めて認識されており、近年は三大感染症のみにとどまらない各国の保健システムの強靱化にも資する活動を展開している。 日本は、グローバルファンド第8次増資期間（2026年～2028年）に対し、今後3年間で最大810億円の貢献を行うことを決定した。2026年4月時点で、日本のグローバルファンドへの累計拠出額は約53億ドルとなっている。				
	事業の概要	民間財団や国連機関ではない官民連携パートナーシップとして、二国間援助機関や国連機関と連携して感染症対策及び保健システム強化に対する支援を行う。具体的には、途上国における三大感染症（エイズ、結核、マラリア）の予防、診断、治療を実現し、これらを促進するための事業や、三大感染症対策を効果的に実施できる強靱かつ持続可能な保健システムを構築するための事業に対して資金供与を行い、途上国が抱える保健課題の改善に貢献する。 なお、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、2000年の九州・沖縄サミットで感染症対策が主要課題とされ、追加的資金調達必要性をG8首脳間で確認したことを受けて2002年に設立された。日本は、いわばグローバルファンドの生みの親であり、継続的にグローバルファンドを支援していくべき立場にある。				
	事業概要URL	<a href="https://www.theglobalfund.org/en/about-the-global-fund/">https://www.theglobalfund.org/en/about-the-global-fund/</a>				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	外務省設置法	平成十一年法律第九十四号		第四条	--	三

関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）定款第2条、グローバルファンド第7次増資会合において発表したプレッジ		--	
実施方法	分担金・拠出金			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	<p>本拠出金については、以下の通りPDCAサイクルを確保。</p> <p>①Plan：グローバルファンドは、6か年戦略を理事会において策定し、大枠の支援方針を決定。これに基づいて形成される具体的な支援案件は、途上国政府・援助関係者（二国間や国際機関）NGO・患者団体等の国内関係者によって構成される合議体から提出され、独立の専門家パネルで技術的側面が審査される。</p> <p>②Do：審査済み案件を、理事会で採否決定。我が国は理事として投票に参加。</p> <p>③Check：外部監査報告に基づく監査報告、独立監査官による監査を通じた成果評価。</p> <p>④Act：理事会や委員会にて、必要に応じて、改善を提言。また、我が国は、事務局長をはじめとする事務局幹部との間で、グローバルファンドの事業実施のあり方や将来の方向性等について定期的に議論を行っている他、オンライン会議等を用いた不定期のインプットも行っている。</p>			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026	2027
	要求額		11,070,000	4,000,000	4,000,000	2,100,000	--
	当初予算		2,037,000	1,500,000	662,393	5,400,000	--
	補正予算		16,540,000	27,700,000	16,200,000	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--	--
	計		18,577,000	29,200,000	16,862,393	5,400,000	--
	執行額		18,577,000	29,200,000	16,862,393	--	--
	執行率		100%	100%	100%	--	--

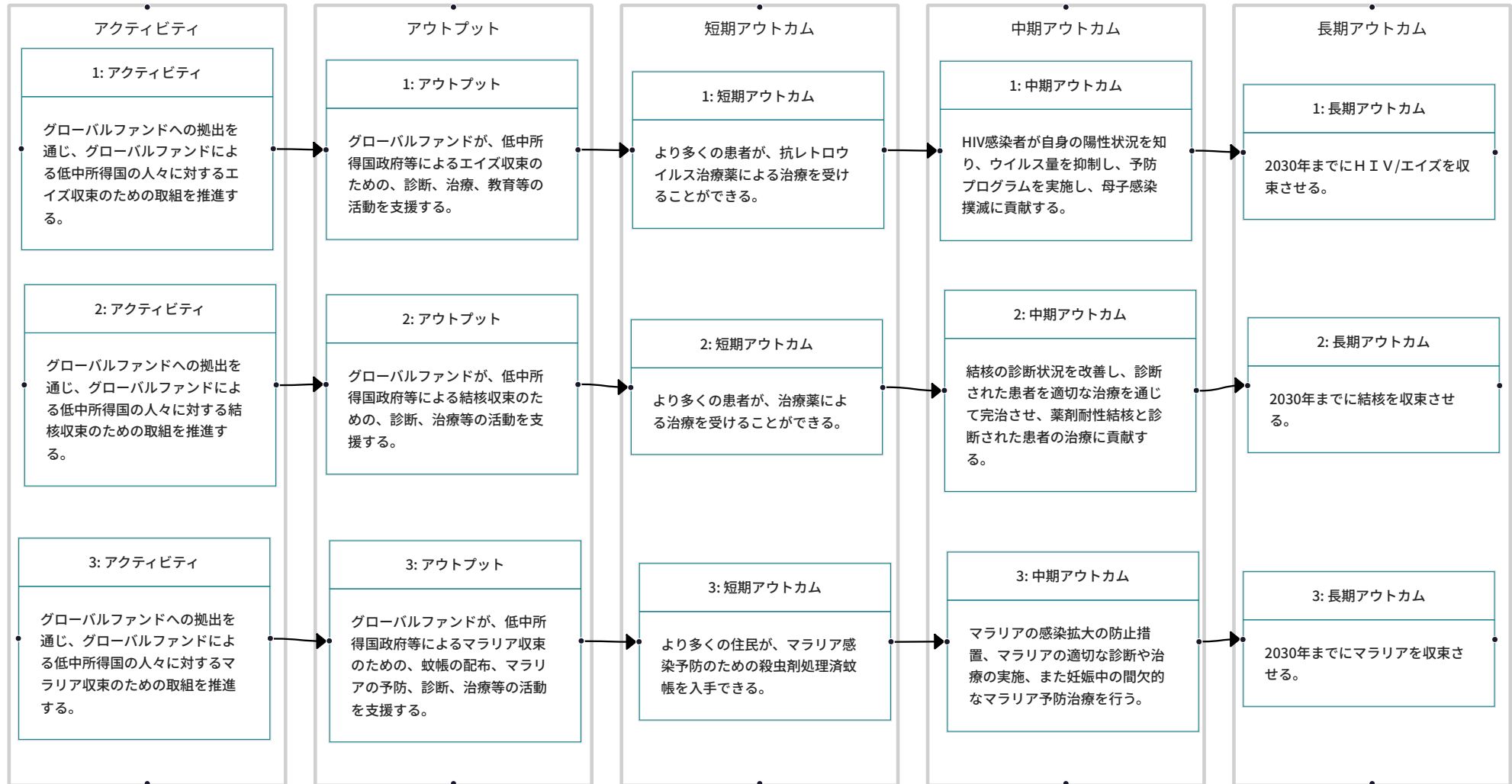
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	5,400,000	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 外務省 / 外務本省 / 経済協力費 / 政府開発援助経済協力国際機関等拠出金		--	5,400,000	--

主な増減理由	--	その他特記事項	--
--------	----	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-1-1-1

アクティビティ	グローバルファンドへの拠出を通じ、グローバルファンドによる低所得国の人々に対するエイズ収束のための取組を推進する。				
アウトプット	活動目標	グローバルファンドが、低所得国政府等によるエイズ収束のための、診断、治療、教育等の活動を支援する。	活動指標	--	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み／目標値	--	--	--	
	活動実績／成果実績	--	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	エイズ収束のために、診断、治療、教育等の活動を行っているところではあるが、とりわけ抗レトロウイルス治療薬による治療が要となるため。				
短期アウトカム	成果目標	より多くの患者が、抗レトロウイルス治療薬による治療を受けることができる。	成果指標	抗レトロウイルス治療薬によるエイズ治療を受けた患者数。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	グローバルファンド2024年成果報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(人)	--	--	25,600,000	--
	活動実績／成果実績(人)	25,000,000	25,600,000	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	2030年までにHIV/エイズを収束させるためには、HIV/エイズを拡散させないためにもHIV感染者が自身の陽性状況を知り、患者のウイルス量を抑制することによりエイズによる死亡リスクを低減させ、新規感染者を抑制するための予防プログラムを実施し、母子感染を通じた新規感染者を抑制することが必要であるため。				

中期アウトカム	成果目標	HIV感染者が自身の陽性状況を知り、ウイルス量を抑制し、予防プログラムを実施し、母子感染撲滅に貢献する。			成果指標	母子感染予防のために抗レトロウイルス治療薬によるエイズ治療を受けたHIV陽性者（割合）	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	--	90
	活動実績／成果実績(率)	92	94	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

↓ 後続アウトカムへのつながり	2030年までにHIV/エイズを収束させるためには、2028年（戦略終了年）におけるHIV/エイズによる死亡の減少率（2021年比）の増加を達成することが必要であるため。						
-----------------	---	--	--	--	--	--	--

長期アウトカム	成果目標	2030年までにHIV/エイズを収束させる。			成果指標	2028年（戦略期間終了年）におけるHIV/エイズによる死亡の減少率（2021年比）	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	12
	活動実績／成果実績(率)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-2-2-2

アクティビティ	グローバルファンドへの拠出を通じ、グローバルファンドによる低所得国の人々に対する結核収束のための取組を推進する。				
アウトプット	活動目標	グローバルファンドが、低所得国政府等による結核収束のための、診断、治療等の活動を支援する。	活動指標	--	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み／目標値	--	--	--	
	活動実績／成果実績	--	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	結核収束のために、診断、治療等の活動を行っているところではあるが、とりわけ治療薬による治療が要となるため。				
短期アウトカム	成果目標	より多くの患者が、治療薬による治療を受けることができる。	成果指標	結核の治療を受けた患者数。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	グローバルファンド2024年成果報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(人)	--	--	7,400,000	--
	活動実績／成果実績(人)	7,100,000	7,400,000	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	2030年までに結核を収束させるためには、結核を拡散させないためにも結核の診断状況を改善し、結核の再発を防止するためにも診断された患者を適切な治療を通じて完治させ、薬剤耐性結核と診断された患者の治療に貢献することが必要であるため。				

中期アウトカム	成果目標	結核の診断状況を改善し、診断された患者を適切な治療を通じて完治させ、薬剤耐性結核と診断された患者の治療に貢献する。		成果指標	結核の治療を受け、完治した患者数（割合）		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	--	90
	活動実績／成果実績(率)	96	90	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

↓ 後続アウトカムへのつながり

2030年までに結核を収束させるためには、2028年（戦略終了年）における結核による死亡の減少率（2021年比）の増加を達成することが必要であるため。

長期アウトカム	成果目標	2030年までに結核を収束させる。		成果指標	2028年（戦略期間終了年）における結核による死亡の減少率（2021年比）		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	6
	活動実績／成果実績(率)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 3-3-3-3

アクティビティ	グローバルファンドへの拠出を通じ、グローバルファンドによる低所得国の人々に対するマラリア収束のための取組を推進する。				
アウトプット	活動目標	グローバルファンドが、低所得国政府等によるマラリア収束のための、蚊帳の配布、マラリアの予防、診断、治療等の活動を支援する。	活動指標	--	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み／目標値	--	--	--	
	活動実績／成果実績	--	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	結核収束のために、蚊帳の配布、マラリアの予防、診断、治療等の活動を行っているところではあるが、とりわけ殺虫剤処理済蚊帳の配布・使用が要となるため。				
短期アウトカム	成果目標	より多くの住民が、マラリア感染予防のための殺虫剤処理済蚊帳を手に入れる。	成果指標	マラリア感染予防のために配布された殺虫剤処理済蚊帳数。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	グローバルファンド2024年成果報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(帳数)	--	--	162,000,000	--
	活動実績／成果実績(帳数)	227,000,000	162,000,000	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	マラリアによる重症化・死亡リスクを低減させ、2030年までにマラリアを収束させるためには、マラリアの感染拡大の防止措置、マラリアの適切な診断や治療の実施、また妊娠中の間欠的なマラリア予防治療を行うことが必要であるため。				

中期アウトカム	成果目標	マラリアの感染拡大の防止措置、マラリアの適切な診断や治療の実施、また妊娠中の間欠的なマラリア予防治療を行う。			成果指標	マラリアの治療を受けた患者数（割合）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	--	90
	活動実績／成果実績(率)	99	98	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

↓ 後続アウトカムへのつながり	2030年までにマラリアを収束させるためには、2028年（戦略終了年）におけるマラリアによる死亡の減少率（2021年比）の増加を達成することが必要であるため。						
--------------------	---	--	--	--	--	--	--

長期アウトカム	成果目標	2030年までにマラリアを収束させる。			成果指標	2028年（戦略期間終了年）におけるマラリアによる死亡の減少率（2021年比）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値：グローバルファンド2023年-2028年期戦略期間のKPI設定に関する資料 <a href="https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf">https://www.theglobalfund.org/media/3skcbxsw/strategy_globalfund2023-2028-kpi_handbook_en.pdf</a>
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

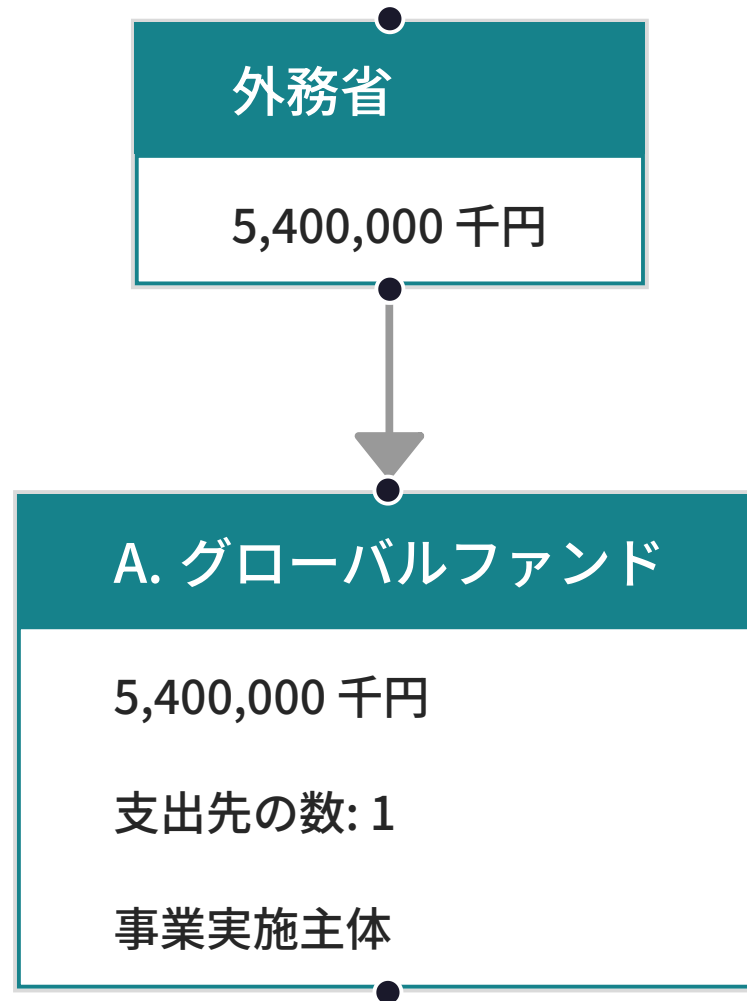
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(率)	--	--	--	--	27
	活動実績／成果実績(率)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	政策：基本目標VI 経済協力：政府開発援助（二国間）又は多国間の開発協力を通じ、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保に貢献し、これにより我が国の平和と安全の維持、一層の繁栄の実現といった国益を確保すること 施策：VI-2 地球規模の諸課題への取組 1 人間の安全保障の推進と我が国の貢献
	URL	<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100545928.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100545928.pdf</a>
	該当箇所	令和5年度事前分析表：382頁

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、エイズ、結核及びマラリアという三大感染症の2030年までの終息という目標を掲げて設立され、これまで着実な成果を上げている。2025年の成果報告書によれば、設立の2002年から2024年にかけて、支援対象国における三大感染症の死亡率は63%減少し、7,000万の生命が救われた。また、エイズ関連死亡者数は2002年から2024年にかけて74%減少し、結核死亡者数（HIV陽性者を除く）とマラリア死亡者数は2002年から2023年にかけてそれぞれ40%と29%減少している。グローバルファンドによる世界規模での感染症対策は、日本への感染症流入のリスクを低減し、ひいては国民の生命を守ることに資する。</p> <p>また、日本は理事会において、グローバルファンドの運営や活動に対して、設立以降、理事としての発言力を有している。さらに、グローバルファンドが調達する医薬品、医療関連機器及び車両などには日本企業製品が含まれており、日本は累積調達額で主要供給国となっており、日本企業製品の海外展開の後押しにも繋がっている。</p> <p>他方、グローバルファンドへの各国からの拠出金の運用における効率性及び事業の効果をさらに高める観点から、他の国際保健機関との連携の強化や類似事業の排除、我が国の二国間協力との連携等、改善の余地がある。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	グローバルファンドの現戦略期間は2023年から2028年となっており、目標年度（2028年）における効果測定は未実施のため、評価は困難。		
	改善の方向性	<p>引き続き、三大感染症の終息に向けて、グローバルファンドに対する拠出金が効率的かつ効果的に各事業において活用されるよう、また、他の国際保健機関との連携の強化に向け、理事会等の議論に積極的に参画する。</p> <p>また、我が国の二国間協力等との連携強化を通じて、グローバルファンドの支援が更に効果的に実施されるよう取り組んでいく。</p> <p>また、世界の三大感染症の流行状況等を踏まえつつ、2030年に三大感染症を終結させるというグローバルファンドの設立時の目標も考慮しつつ、国際社会における三大感染症対策に対するニーズも踏まえながら、次期プレッジに向けても、適切な支援の規模について不断の検討を行う。</p>		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	2022
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	--			

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--			
その他の指摘事 項	指摘を受けた調査等の名称	--	指摘年度	--
指摘内容				
令和4年度会計検査を受検し、事前質問に対し適宜回答したところ、特段の指摘事項なし。				
対応状況				
なし				



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	グローバルファンド	5,400,000	1	事業実施主体		
	支出先名		支出額	法人番号			
	グローバルファンド		5,400,000	9999999999999			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
任意拠出金 その他(-)		5,400,000	--	--	--		
費目・使途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額		
--	--	--	--	--	--		
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号			
	--		--	--			

その他備考

--